

需要獲得

ものづくり

中島プレス工業株式会社

埼玉県越谷市

安全と品質にこだわり、構築した知見と技術の活用で、顧客に価値を提供

1974年の創業以来、各種プレス加工を請け負う製造業。柔らかい素材、フィルム、両面テープ、フェルト、断熱材、不織布の型抜きを受託製造している。同時に、渋沢栄一ビジネス大賞テクノロジー部門特別賞を受賞した形状記憶の鳩や、日本の文化「折形」を継承するORU-KOTO®等の自社製品開発も積極的に展開している。「安全と品質が第一」「顧客ニーズを重視した価値ある商品の製造とサービスの提供」「地域社会に貢献できる企業を目指す」という指針のもと、全社一丸となり日々課題に取り組んでいる。

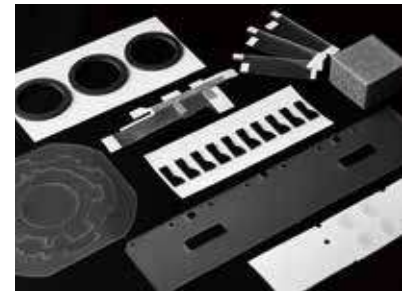
所在地 埼玉県越谷市増森2544番地
電話/FAX 048-964-9924/048-965-5523
URL <https://www.nakajimapress.jp/>
代表者 代表取締役社長 小松崎 いずみ

設立 1974年
資本金 300万円
従業員数 20人



構築した知見と技術を活用して新たなビジネスモデルに取り組む

創業以来培ってきた「柔らかい素材」に関する加工技術の活用と、営業・技術の協力体制で、フィルム、両面テープ、フェルト、不織布裁断加工、おくり鳩®等新しい高機能性素材の自社製品開発に積極的に取り組んでいる。コロナ禍における国内でのマスク不足の際には、食品工場の緊急事態による生産要請に応じて既存設備を転用し、不織布マスクの加工体制やフェイスシールドの製造体制を迅速に構築し、市場への供給に貢献した。



同社の技術が発揮された製品

地域を意識した事業活動に注力する

小松崎社長は、販路コーディネイト事業の専門家として令和元年に登録しており、現在は専門化活動の支援業務を通して、ネットワークを広げ支援企業からも高い評価を得ている。同社としては、越谷商工会議所発刊の「商工会議所だより」を通して新たな加工案件を受託する等、地域資源を活用したビジネスに取り組んでいる。また、危機状況における地域としての課題解決のために、地域企業と積極的に情報を交換し、災害時の生産体制や製品供給体制を構築している。



越谷商工会議所だより（2020年8月号）

社会情勢の変化を見通し、未来の可能性にチャレンジする

同社独自の進捗管理システムの導入により「工場見える化」を実現したことで、顧客との距離が縮まり幅広い顧客層からの受託が可能となった。これにより、高機能性素材加工ニーズに対応する第一歩となっている。現在は、同社製品の企画製造事業を通じた顧客ニーズ収集機能を強化し、(公財)埼玉県産業振興公社のEC支援事業や、中小企業基盤整備機構で主催されている海外販路開拓セミナーに積極的に参加することで、将来的な海外からの受託を現実にするべく準備を進めている。



和の趣が漂う同社製品